



医療法人社団 檉の木会  
大島くるみ病院

〒939-0271

富山県射水市大島北野48番地

Tel0766-52-2580 Fax0766-52-8016

<http://www.kurumi.or.jp>

# 大島くるみ病院便り

今年も残り僅かとなりましたが、12月1日から運転中の携帯電話等の使用、いわゆる「ながら運転」に関する罰則規定が強化され、通話や注視により交通の危険を生じさせる「携帯電話使用等（交通の危険）」は一発免停の6点となりました。運転中にスマートフォン等の画面を注視していたことに起因する交通事故が増加傾向にあり、大きな社会問題となっています。忘年会シーズンですが、飲酒運転はもちろん「ながらスマホ」運転も絶対にやめましょう。

## ～医療情報～



## 冬の脱水症状

高齢者の冬の脱水症状は夏よりも危険とも言われています。夏のイメージが強いですが、実はピークは夏と冬の2回あります。心筋梗塞や脳梗塞の危険性も高めてしまうので、特に高齢者のかくれ脱水には注意をする必要があります。

冬の脱水の原因は二つあります。一つ目は温度の低下による乾燥です。身体の快適な湿度は50～60%なのに対し、冬の湿度は50%以下になり、知らないうちに身体から水分が出てしまいます。二つ目は意識の低下です。夏は意識的に水分補給を行いま

すが、寒くなると汗をあまりかかないため、警戒心が下がります。

かくれ脱水は水分が体からじわじわと失われることによって起こります。最初の症状はだるくなったり、口の中がねばねばする程度ですが、その後は立ちくらみや食欲低下、さらに悪化すると、脳梗塞や心筋梗塞の危険性が高まります。意識がもうろうとして自力で立つことができない場合や口から飲み物や食べ物を摂取することが出来ない場合などは、重症で危険性が高いので、周りの人が病院に連れていくか、救急車を呼ぶなどの早急な対応が必要です。



## 医療連携懇談会



11月13日（水）午後2時より当院にて第6回医療連携懇談会が開催されました。高岡医療圏の病院を中心に富山市内の病院も含め、7病院8名の方にご出席を頂き、当院からは院長をはじめ、看護師、介護職など多職種が参加して当院の取組みや今後の課題についての発表を行いました。その後の情報交換・懇談会では、3組に分かれて初めてのグループワークを行いました。

活発な意見交換ができ、大変有意義な懇談会となりました。



参加医療機関：真生会富山病院 厚生連高岡病院 富山西総合病院  
射水市民病院 高岡市民病院 JCHO 高岡ふしき病院  
富山県リハビリテーション病院こども支援センター（順不同・敬称略）

# 感染研修

日時：11月20日（水）  
21日（木）  
15:30～16:00  
参加人数：98人

インフルエンザの流行期に合わせて、職員全員を対象にビデオ研修を行いました。感染経路・症状・予防対策・医療従事者の対応などを再度確認しました。この研修を踏まえ、患者さん・入所者・当院を利用される全ての方が安心して過ごせるよう、努めていきます。



# 大島くるみ病院に献血車が来ました



10月30日（水）に献血会を行いました。当院職員を中心に多くの方に参加していただき、その内11名に献血して頂きました。



皆様の善意で尊い命を守ることが出来ます。ご協力ありがとうございました。

# ミニ運動会

日時：11月6日（水）  
14：00～  
場所：北3階ホール  
参加者：北3階22名、南3階5名  
北2階8名  
内容：①パン食い競争  
②玉入れ



参加された利用者様もスタッフも、楽しいひと時を共有しました。

# クリスマスツリーを飾りました



今年もクリスマスツリーを飾る季節がやってきました。保育室の先生や園児たちに手伝ってもらい、飾り付けました。



上手に出来上がりました！  
みんなで記念撮影！！

※1階ロビーにてご覧になれます。

# 12月 Happy Birthday

堀田 富佐江様 76歳	塩谷 照雄様 86歳	清水 梅芳様 85歳
浦上 淑子様 95歳	鎧塚 公子様 84歳	市野井 雪子様 87歳
澤田 愛子様 92歳	板坂 昭様 85歳	宮原 美代様 86歳
福本 幸恵様 79歳	白石 富子様 87歳	長谷 信子様 86歳
経塚 一美様 87歳	牧野 幸子様 75歳	種村 サチ子様 78歳

☆デイケア・ショートケアの方も掲載しています。

# 今月の顔



ショートケア 宮原 美代様

## ☆編集後記☆

今年はインフルエンザの流行入りが昨シーズンの流行開始に比べて約2週間早いそうです。

手洗いやうがいなど、予防を徹底し体調に気をつけ、新年を迎えたいと思います。(M)

## 基本理念

患者さんの生命と人権を尊重した医療・看護・介護に努めます。信頼され安心して利用される施設・在宅支援サービスを提供します。地域と連携し高齢者医療の中核病院を目指します。職員は常に自己研鑽に励み、医療・看護・介護の質の向上に努力します。

平成23年3月7日改定

## 運営指針

- 1 私たちは、思いやりの心をもって利用者の方々の自立支援を行います。
- 2 私たちは、感謝の気持ちをもって、利用者の方々に接します。
- 3 私たちは、小さな努力を一步一步積み重ねて、利用者の方々の笑顔を得たいと考えます。
- 4 私たちは、利用者の方々の長年の苦勞に敬意をはらって、介護サービスをいたします。
- 5 私たちは、利用者の方々からのご意見、ご提案に耳を傾けます。
- 6 私たちは、入所・入院しておられる方々に医療情報を積極的に公開し安心と納得の医療に努めます。